

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月30日 (2015.4.30)

【公開番号】特開2013-192962(P2013-192962A)

【公開日】平成25年9月30日 (2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-053

【出願番号】特願2013-126370(P2013-126370)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月13日 (2015.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定条件の成立に起因して遊技の当否判定を行う当否判定手段と、

前記当否判定手段による当否判定結果が当たりとなったことを起因に遊技球が入賞し易い開放状態と入賞し難い閉鎖状態に変位可能な可変入賞装置と、

前記当否判定手段による当否判定結果が当たりとなったことを起因に特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

を備え、

前記特別遊技では、前記可変入賞装置が少なくとも 1 回開放状態となって前記可変入賞装置への入賞が可能となるラウンド状態と前記可変入賞装置が閉鎖状態となって前記可変入賞装置への入賞が不可能となるインターバル状態を複数回交互に行う遊技機において、

前記特別遊技実行手段によって実行される前記特別遊技の少なくとも 1 回の前記ラウンド状態では、前記特別遊技後の遊技状態を通常遊技状態よりも遊技者に有利となる特典遊技状態とするか否かを前記可変入賞装置内に設けられた特典付与領域への遊技球の通過状態によって決定する特典遊技実行決定手段が実行され、

前記特典付与領域には前記特典付与領域を開閉する開閉部材が設けられ、

前記特典遊技実行決定手段が実行される前記ラウンド状態では、前記特典付与領域への遊技球の通過が可能となるように前記開閉部材を開放状態とする開放時間と、前記開放時間経過後に前記特典付与領域への遊技球の通過が困難となるように前記開閉部材を閉鎖状態とする閉鎖時間とが少なくとも設定され、且つ前記閉鎖時間内には、前記特典遊技実行決定手段による決定を無効とする無効期間が設定され、

前記無効期間における前記特典付与領域の遊技球の通過を確認する遊技球確認手段を備え、

前記遊技球確認手段によって前記閉鎖時間内の前記無効期間での遊技球の通過が確認された場合はその通過が異常であることの報知を行わない異常制御手段を備え、

前記特別遊技は、少なくとも前記特典遊技実行決定手段が実行されるラウンド状態のときに前記可変入賞装置への遊技球の入賞が容易となる第一の特別遊技と、前記特別遊技実行決定手段が実行されるラウンド状態のときに前記第一の特別遊技よりも前記可変入賞装置の開放時間が短く遊技球の入賞を困難にする第二の特別遊技を有し、

前記第一の特別遊技と前記第二の特別遊技の何れの特別遊技でも前記異常制御手段を実

行することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記可変入賞装置は、前記特別遊技中の前記ラウンド状態終了後から前記インターバル状態中に予め定めた時間遊技球の入賞を有効とする入賞有効期間と前記有効期間経過後に遊技球の入賞を無効とする入賞無効期間が設定され、

前記入賞無効期間での遊技球の入賞に対してその入賞が異常であることの報知を行う入賞異常報知手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項 1 の発明は、判定条件の成立に起因して遊技の当否判定を行う当否判定手段と、前記当否判定手段による当否判定結果が当たりとなったことを起因に遊技球が入賞し易い開放状態と入賞し難い閉鎖状態に変位可能な可変入賞装置と、前記当否判定手段による当否判定結果が当たりとなったことを起因に特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、を備え、前記特別遊技では、前記可変入賞装置が少なくとも 1 回開放状態となって前記可変入賞装置への入賞が可能となるラウンド状態と前記可変入賞装置が閉鎖状態となって前記可変入賞装置への入賞が不可能となるインターバル状態を複数回交互に行う遊技機において、前記特別遊技実行手段によって実行される前記特別遊技の少なくとも 1 回の前記ラウンド状態では、前記特別遊技後の遊技状態を通常遊技状態よりも遊技者に有利となる特典遊技状態とするか否かを前記可変入賞装置内に設けられた特典付与領域への遊技球の通過状態によって決定する特典遊技実行決定手段が実行され、前記特典付与領域には前記特典付与領域を開閉する開閉部材が設けられ、前記特典遊技実行決定手段が実行される前記ラウンド状態では、前記特典付与領域への遊技球の通過が可能となるように前記開閉部材を開放状態とする開放時間と、前記開放時間経過後に前記特典付与領域への遊技球の通過が困難となるように前記開閉部材を閉鎖状態とする閉鎖時間とが少なくとも設定され、且つ前記閉鎖時間内には、前記特典遊技実行決定手段による決定を無効とする無効期間が設定され、前記無効期間における前記特典付与領域の遊技球の通過を確認する遊技球確認手段を備え、前記遊技球確認手段によって前記閉鎖時間内の前記無効期間での遊技球の通過が確認された場合はその通過が異常であることの報知を行わない異常制御手段を備え、前記特別遊技は、少なくとも前記特典遊技実行決定手段が実行されるラウンド状態のときに前記可変入賞装置への遊技球の入賞が容易となる第一の特別遊技と、前記特別遊技実行決定手段が実行されるラウンド状態のときに前記第一の特別遊技よりも前記可変入賞装置の開放時間が短く遊技球の入賞を困難にする第二の特別遊技を有し、前記第一の特別遊技と前記第二の特別遊技の何れの特別遊技でも前記異常制御手段を実行することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項2の発明は、請求項1において、前記可変入賞装置は、前記特別遊技中の前記ラウンド状態終了後から前記インターバル状態中に予め定めた時間遊技球の入賞を有効とする入賞有効期間と前記入賞有効期間経過後に遊技球の入賞を無効とする入賞無効期間が設定され、前記入賞無効期間での遊技球の入賞に対してその入賞が異常であることの報知を行う入賞異常報知手段を備えたことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1の発明によれば、特典付与領域における遊技球の通過に関して遊技球確認手段によって閉鎖時間内の無効期間での遊技球の通過が確認された場合は異常制御手段によって遊技球の通過が異常であることの報知を行わないようにすることで、異常報知の頻度を抑制することが可能となる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項2の発明によれば、可変入賞装置は、インターバル状態中に入賞有効期間と入賞無効期間を設定することで、ラウンド状態中に生じた球ガミや詰まりなどにより遊技球が遅れて入賞した場合でもその入賞を有効とすることができる一方、入賞有効期間経過後に入賞した遊技球は球ガミや詰まりによるものではなくインターバル状態中に故意に入賞させた不正行為の可能性が高いと判断することができるため、その入賞を無効とし、不正行為の可能性が高い入賞に対してのみ異常であることの報知を行うことが可能となる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】